

Acueil News

アクイール ニュース

令和2年 7月号(第77号)
編集・発行
特別養護老人ホームアクイール
広報委員 担当 服部
我孫子市岡発戸1498
☎04-7165-6511

！祝！百寿 石橋富美子様



七月十一日、ごまちユニットにお住いの石橋富美子様が百歳の誕生日を迎えられ、お祝いの会を開催させていただきました。
石橋様は平成二十五年アクイール開設の年の十月にご入居され、約七年間変わらぬ笑顔とユーモア抜群のトークでお元気に過ごされています。
石橋様が過ごされてきた百年の節目の時を共に過ごし、お祝いさせていただきます。
これからもお元気で過ごしてください。

お誕生日当日には娘様とオンラインでの面会をされ、素敵な花束が届けられました。



会では手作りのムースケーキでお祝いました。生クリームやチョコスプレーでのデコレーションを石橋様にも手伝っていただき、皆さんでおいしくいただきました。

「百歳おめでとうございますー!」という声、「そんな、百歳なわけなからーがー!」と笑い飛ばされます! そんなところが元気で長生きの秘訣でしょうか?



ユニットリーダーより

いおり 釜田リーダー



まず、この状況とは関係なく、ご家族にとって自分の親や伴侶が特養に入居しているということについては様々な思いがあるということを理解し、ご家族が安心できる介護を心がけています。ご利用者がご家族と会えない、職員もご家族とお会いできずお気持ちを聞くことができない今だからこそ、今まで以上にお気持ちをくみとってできることを最大限して差し上げたいという気持ちをもって支援をしています。日々、'とにかく明るく接する' 'ありがとう' と言って下さるご利用者に対しては・・・ 'こちらこそありがとうございます' です！

ご利用者もご家族も会えない期間がいつまでなのか、先が見えない大きな不安を抱えていらっしゃると思います。そんな状況において、どんなことに配慮し、どのような気持ちで日々のケアにあたっているのかユニットリーダーに聞いてみました。今回は二階のいおり・わたぼうしユニットのリーダーお二人です。



世間では新しい生活様式・ソーシャルディスタンスの重要性が説かれていますが、介護はその逆で、ご利用者とはまさに密に接しなければならない仕事です。だからこそユニット内の消毒や換気等は緊張感と責任感をもって徹底しています。プライベートでも同様です。また、ご利用者の多くはコロナの現状のご理解が困難であることを理解した上での配慮を意識して支援しています。ご面会の見通しが立たない現状ですが、オンライン面会をもっと活用していただければと思います。お顔を見せていただけるだけでも・・・私たちがいくらかでも橋渡しを致します！



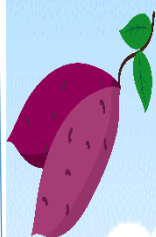
わたぼうし 小林リーダー



今月ご紹介するのは七夕の昼食です。冷たいそうめんと小さいですがお稲荷さんを添えたボリューム満点のメニューです。エビやいくらも入り、皆さんとても喜ばれていました。



さつまいもを育てています



今年は裏の畑でさつまいもを育てています。収穫は十月頃の予定ですが、やき芋やスイートポテトをつくって皆さんに楽しんでいただくと思っています。収穫の芋ほりももちろんお手伝いしていただきます！



多床室西側の居室のバルコニーにゴーヤを植えました。水やりをご利用者にも手伝っていただき、日々大きくなっています。

緑のカーテン栽培中！

「楽しみね、毎日眺めちゃうわー」と隣室のご利用者より



あじさい鑑賞



アクイールの敷地内にもわずかですがあじさいがあります。天気の良い日にお散歩に出かけました。



お知らせ

コロナウイルスの感染状況に関し、ご家族の皆様におかれましても日々不安なお気持ちを募らせていらっしゃるということお察しいたします。

ご面会に関してですが、当面は今までの制限を継続させていただきます。状況が変わり、見通しが立った時点でご連絡を致しますのでよろしくお願い致します。また、例年行っていました夏祭りや敬老会について今年度は規模を縮小し、各ユニットやフロアにおいて企画やお祝いをさせていただく予定となっています。

引き続きオンライン面会のお申込みはいつでも受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。